Fashion

２０１８年4月号

『おしゃれの教科書』

女の子のための映画スタイルブック

杉浦さやか著 ブロンズ新社 2011

みなさん、ご入学、ご進学おめでとうございます！新入生のみなさんははじめまして。松蔭の図書館にはいろんな本がたくさんありますよ。本だけじゃないんです。松蔭の図書館には宝塚や映画のパンフレットやDVDもたくさんあります！ディズニーやジブリ、話題のものも結構入っているんですよ。館内で見れたり、手続きをすれば貸出も可能なのでぜひ、見に来てくださいね。映画といえば…みなさん邦画でも洋画でも、特に洋画がそうかな、映画に出ている人たちが着ているお洋服、とってもステキだとおもいませんか？（着ている人がステキなのももちろんありますが！）映画の年代、世界観にぴったりのお洋服たちは、こんなお洋服着てみたい、こんなお洋服を着てデートしてみたい、と見ているわたしたちに憧れをもたらしてくれます。そんな映画のお洋服の本を今月はご紹介します。『おしゃれの教科書 女の子のための映画スタイルブック』杉浦さやか著 ブロンズ新社 2011 あげられているお洋服はどれも'30年代や'50年代、'60年代のとってもむかしのお洋服ばかり。けれど今見てもちゃんとかわいい、通用する、むしろ着てみたいお洋服です。そしてそんなお洋服たちをイラストレーターの杉浦さやかさんがとってもかわいくやさしく描いてくれています。ページをひらくたびに、映画の世界へ入りこんでしまいます。コーディネートの参考にもなるファッション雑誌のようです♪映画を見ながらいつも思いますが、お洋服もれっきとした映画のおはなしの一部だなあと思います。杉浦さんも本書のなかで、「ストーリーは重かったりしんどい内容でも、華やかな色彩やデザインのお洋服のおかげで少しやわらぐような感じがする」とかいています。映画のお洋服はただ単におしゃれでかわいいだけじゃなく、その映画を演出するひとつの道具なのだとおもいます。（スタイリストさんって言われてる人たちはとっても重要な大事なお仕事ですね。）アイテムひとつひとつに映画の年代や世界観にまつわったこだわりがあったり…映画をみるときは、そういうところもチェックしてみるとますます映画のお話の世界に浸れるかもしれませんね♪図書館に入っている映画も載っていますので、気になった人はDVDもチェックしてみてください♪